

宮城県感染症発生動向調査情報

令和05年04月27日発行

2023.4.17 ~ 2023.4.23 - 第16週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第13週	第14週	第15週	第16週
水痘		1 0.10		1 0.17			2 0.04	56				
流行性耳下腺炎		1 0.10					1 0.02	22				
感染性胃腸炎	16 4.00	55 5.50	7 1.17	20 3.33	1 0.50	97 3.59	196 3.56	6,165	◎	◎	◎	◎
手足口病							0 0.00	11				
伝染性紅斑						1 0.04	1 0.02	12				
突発性発しん	1 0.25	1 0.10	3 0.50	2 0.33	1 0.50	6 0.22	14 0.25	245				
ヘルパンギーナ						3 0.11	3 0.05	6				
インフルエンザ	40 5.71	38 2.38	8 0.80	13 1.30		497 11.30	596 6.55	6,083	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	2 0.50	3 0.30	2 0.33	2 0.33		10 0.37	19 0.35	125				
流行性角結膜炎			1 1.00	7 7.00		3 0.50	11 0.92	47				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 3.50	2 0.20	2 0.33	2 0.33		8 0.30	28 0.51	300			○	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2				
無菌性髄膜炎							0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00		1 1.00			2 0.20	11				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	9 2.25	2 0.20	13 2.17	6 1.00	2 1.00	3 0.11	35 0.64	405			○	○
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)					1						
	川崎病					1						
	不明発疹症					2						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))
 仙台管内 男性1名
 結核(無症状病原体保有者)
 仙台管内 男性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: ウイルス性肝炎
 仙台管内 男性1名
 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
 仙南管内 男性1名(*Klebsiella aerogenes*)
 大崎管内 女性1名(*Escherichia coli*)
 仙台管内 男性1名(15週、*Enterobacter cloacae* complex)
 後天性免疫不全症候群
 仙台管内 男性1名
 水痘(入院例)
 仙台管内 女性1名
 梅毒
 大崎管内 男性1名、女性1名
 仙台管内 女性3名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)
 宮城県(仙台市を除く) 602名
 仙台市 637名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙台管内で注意報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

気仙沼管内 第16週採取分 SARS-CoV-2 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中 間 報 告		
	確 定 第13週採取分 (3.27~4.2)	第14週採取分 (4.3~4.9)	第15週採取分 (4.10~4.16)
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	1件	0件
サイトメガウイルス	0件	1件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第16週の新型コロナウイルス感染症患者数は1,239名と先週から増加しています。インフルエンザ患者数は前週の342名から596名へ増加しており、仙台管内で定点医療機関当たりの患者報告数が注意報発令基準値の10人を超えました。ゴールデンウィークを迎え、人の移動により感染機会の増加が懸念されるため、今後も動向に注意し基本的な感染対策の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の191名から196名と、ほぼ横ばいで推移しています。保育施設等での集団感染事例も発生していることから、注意が必要です。感染性胃腸炎は嘔吐、下痢などを主な症状とする感染症です。冬期はノロウイルスを原因とする事例が多いですが、今後気候が温かくなると、ウイルスだけでなく細菌を原因とする事例も発生することが懸念されるため、引き続き感染対策の徹底に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

